

# 仏華の立て方を研修

HO日記

◆9月25日 赤穂北組住職 寺族同朋講座を淳泰寺で開 催。教区派遣講師は木下義 昭師◆26日 姫路東組同朋 講座を願正寺で。講師は谷 川弘顕師◆27日 寺族 婦人会連盟第三回開法旅行。 妙好人源佐同行のご旧跡を 訪ねる、参加者四十人◆27 日 神戸湊組同朋講座を願 証寺で。講師は谷川弘顕師

◆28日 姫路西組同朋講座 を本徳寺で。講師は西脇修 師◆29日 寺族婦人連統学 習会打ち合わせ会議。企画 室員と担当者で十月十九日 姫路中組光源寺での研修の 進め方など◆研修読本作成 部会◆都市開教パンフ企画 会議◆近畿地区教区会議長

◆2日 第十七回近畿仏婦 大会が京都国際会館で開か れた。教区からの参加は二百 八十八人◆4日 姫路中組同 朋講座を真宗寺で。講師は 和田智浄師◆兵庫県内の浜 屋さんの職員三百人が本山 研修参拝。教務所長も挨拶 に上山◆5日 基推委常任 企画会議。今年度の教化行 事の反省と今後の行事計画 などについて◆少年連盟サ

マースクール反省会。今年 お世話になった日生西念寺 でのサマースクールの事な ど◆7日 氷上東組同朋講 座を古河の明光寺で。講師 は藤栄行信師◆別院仏婦永 代経法要。講師は堀川宣裕 師「お念仏のご縁を結ばせ ていただくのが父であり母 であり……」と永代経の ご縁をわかりやすくお取り 継ぎのご講師でした◆7日 8日 近畿ブロック仏青研 修会を大阪教区河北組願証 寺で。教区より四人◆9日 出石組同朋総結集大会 を出石町の町民センターで 開催。教務所長も出席する ◆11日 佐用組同朋講座を 西蓮寺で。講師は亀岡周明 師◆都市開教パンフ企画会 議。毎年作成のパンフを今 年度はカラーとしては案 が出る◆青年僧侶の役員 会。街頭伝道と今後の行事 について◆12日 赤穂北組 同朋講座を光専寺で。講師 は西脇修師◆保育連盟理事 会。保育資料の作成、来年 度兵庫の担当となる近畿ブ ロック研修等◆広報部 会。組の活動などをもっと身 近な事を載せていきたいと と委員◆13日 教務所職員 の歓送迎会を近くの焼き鳥 屋の二階で。日高別院の輪 番として赴任された前藤永 賛事さんと新職員の岡崎さ

生前の「苦労を偲び 謹んで慶弔の意を表します。(敬称略)

網干組 善徳寺住職	望月 亮哉	9月23日	60才
出石組 光蓮寺前坊守	松谷 信子	9月25日	75才
「法専院 釈尼良祥」	和田 藤枝	10月3日	78才
「慈光院 釈尼浄芳」	永野富美子	10月5日	80才
「富瑞院 彩尼美浄」	山田 雅亮	10月24日	63才
出石組 高福寺住職			
「眞真院 釈雅亮」			

## 教区だより 11月

11月3日(金)	第9回全国仏教壮年大会	本願寺
6日(月)	広報部会	5時
	青年僧侶の役員会	6時半
	長島愛生園追悼法要	岡山県邑久町
7日(火)	別院仏婦常例	1時半
	愛生園真宗同朋会・光明園真宗法話会報恩講	岡山県邑久町
9日(木)	基推委常任企画会議	10時半
	研修読本作成部会	1時
10日(金)~11日(土)	御同朋結集大会総合庶務部会	午後4時~翌午前中
14日(火)~16日(木)	別院常例 近藤龍雲師(加古川組普光寺)	1時半
15日(水)	近畿教誨師大会	和歌山
22日(水)	全国布教大会	本願寺
27日(月)~29日(水)	別院報恩講 不二川公勝師(備後教区)	
12月1日(金)	基推委常任企画会議	10時半

マースクール反省会。今年 お世話になった日生西念寺 でのサマースクールの事な ど◆7日 氷上東組同朋講 座を古河の明光寺で。講師 は藤栄行信師◆別院仏婦永 代経法要。講師は堀川宣裕 師「お念仏のご縁を結ばせ ていただくのが父であり母 であり……」と永代経の ご縁をわかりやすくお取り 継ぎのご講師でした◆7日 8日 近畿ブロック仏青研 修会を大阪教区河北組願証 寺で。教区より四人◆9日 出石組同朋総結集大会 を出石町の町民センターで 開催。教務所長も出席する ◆11日 佐用組同朋講座を 西蓮寺で。講師は亀岡周明 師◆都市開教パンフ企画会 議。毎年作成のパンフを今 年度はカラーとしては案 が出る◆青年僧侶の役員 会。街頭伝道と今後の行事 について◆12日 赤穂北組 同朋講座を光専寺で。講師 は西脇修師◆保育連盟理事 会。保育資料の作成、来年 度兵庫の担当となる近畿ブ ロック研修等◆広報部 会。組の活動などをもっと身 近な事を載せていきたいと と委員◆13日 教務所職員 の歓送迎会を近くの焼き鳥 屋の二階で。日高別院の輪 番として赴任された前藤永 賛事さんと新職員の岡崎さ

を囲んで二時間余りの懇 親の場をもった◆14日 16日 別院常例。講師は大西龍 雲師「お正信偈に不断煩惱 得涅槃とあります通り、煩 悩を断じることなく涅槃の 悟りが得られるのは、私に とどいてくださる法のおは たらきによるのであります。 この私が親さまの救いのお めあてとお念仏慶んで下さ い……」と三日のご縁を 終わられた◆15日 朝来組 西法寺住職継職奉告法要に 宗派からの祝辞伝達のため 小滝教務所長出席◆16日 神戸西組同朋講座を長田の 正覚寺で。講師は和田智浄 師◆西播常例の打ち合わせ 会を有馬の向陽閣で。所長、 担当職員も出席◆ダーナ会 議。ダーナ活動手帳(仮称) 作製等について◆連区基幹 運動研修協議会を奈良ロイ ヤルホテルで開催。教区よ

## 江並教堂

# 「岡山県の教化拠点に」

## 華やかに再建慶讃法要

去る十月二十一日午後一 時より本願寺江並教堂再建 慶讃法要が岡山南・北両組 のご法中が出勤、また門徒 代表や有縁の方々を参拝を いただき盛大に厳修された。 江並教堂は明治初期に江

並説教所として開設され、 昭和二十七年に本願寺派の 直属寺院となり、親鸞聖人 の教義を宣布する念仏の道 場として今日に至っており ます。 その後、年月と共に建物

の老朽化が進み教堂機能の 健全化を火急にはかる事態 となり江並教堂四十数戸の 門徒の皆様が法義相統の熱 意と、格段の協力により今 年の四月十九日より教堂再 建工事が進められ、総工費 一千六百九十万で八月五日 に完成いたしました。

法要の後、小滝了信主管 (教務所長)は祝賀式の中で 「この法要を厳修するにあ たっては教区内の寺院はじ めご門徒の方々、教化団体 などからたくさんのご懇念 ご祝儀を頂戴いたしました。 こと始めに厚くお礼申し上 げます。

この地も兵庫教区の管轄 ではありませんが、浄土真宗 のおみのりが広がっていく 岡山県東部の拠点であると 考えております。 教堂が再建されました事 を機縁に岡山南北両組の協 力を得ながら本来の教化セ ンターの役割を担うよう努 力していきたいと思ってお ります。……と述べた。 つぎに、この教堂の護持 発展と再建の為に尽力をさ された井上法順参勤とご門徒 の役員の方々に宗派よりの 感謝状が教務所長より伝達 された。

父も母も 妹も弟も手 を合わせ、 ナマングブ ツと唱える 家で成長し ました。四〇才を過ぎた頃 私の心の底にうごめく鬼に 気づきました。私が鬼にな れるから我が家が成り立 っているとも思っていました。 その頃から朝夕のおつ とめができるようになりました。 ねてもさめても、の 思いが深くなってきました ◆私の寺の総代植原英一氏 が私に話してくれました。 同氏と聖典を読み合っていたある日、証巻の莊嚴主功 徳成就(三〇九頁)のところが、私の胸奥には、法話 になる教材、と波紋が広が っていました。「ひとたび安 楽浄土に生ずれば、後の時 三界に生まれ、衆生を教化 せんと願じて……」同氏は 声読黙読を繰り返して、しば らく目を閉じ、ナマングブ ツと合掌されていました。 ◆その夜、同氏と別れ て後、私は長い時間書斎を 離れることができません。先 刻の情景を反すうし、証巻 を読み返し、五体に熱いも のがこみ上げてきました。 感動がいままでと願っ ています。(浅井幸憲)



父も母も 妹も弟も手 を合わせ、 ナマングブ ツと唱える 家で成長し ました。四〇才を過ぎた頃 私の心の底にうごめく鬼に 気づきました。私が鬼にな れるから我が家が成り立 っているとも思っていました。 その頃から朝夕のおつ とめができるようになりました。 ねてもさめても、の 思いが深くなってきました ◆私の寺の総代植原英一氏 が私に話してくれました。 同氏と聖典を読み合っていたある日、証巻の莊嚴主功 徳成就(三〇九頁)のところが、私の胸奥には、法話 になる教材、と波紋が広が っていました。「ひとたび安 楽浄土に生ずれば、後の時 三界に生まれ、衆生を教化 せんと願じて……」同氏は 声読黙読を繰り返して、しば らく目を閉じ、ナマングブ ツと合掌されていました。 ◆その夜、同氏と別れ て後、私は長い時間書斎を 離れることができません。先 刻の情景を反すうし、証巻 を読み返し、五体に熱いも のがこみ上げてきました。 感動がいままでと願っ ています。(浅井幸憲)

# HO 教区新報

教区新報

HO YOG

1989. 11. 28号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所 〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号 (本願寺神戸別院内) 電話 神戸(078)341-5949(代) [編集] 教区基推委広報部

発行所



岡山南・北組のご法中出勤で行われた慶讃法要

代表して井上参勤は挨拶 の中で、私事になりますが 赤穂市から移住して五十有 余年、念仏の声を絶やして はいけないの思いでやっ てまいりました。その間に は、いろんな苦難もありま したが今日の日を迎えるこ とができました。これから も念仏の声高らかに、この 本堂が鳴り響くようご支援 をよろしくお願い申し上げ ます。……と。 法中を代表して藤丸顕雄 師(岡山南組々長)も祝辞 を述べられた。 引き続き、西脇正文師(揖 童西組超念寺)の記念講演 があり慶びのうちに四時前 終了した。

父も母も 妹も弟も手 を合わせ、 ナマングブ ツと唱える 家で成長し ました。四〇才を過ぎた頃 私の心の底にうごめく鬼に 気づきました。私が鬼にな れるから我が家が成り立 っているとも思っていました。 その頃から朝夕のおつ とめができるようになりました。 ねてもさめても、の 思いが深くなってきました ◆私の寺の総代植原英一氏 が私に話してくれました。 同氏と聖典を読み合っていたある日、証巻の莊嚴主功 徳成就(三〇九頁)のところが、私の胸奥には、法話 になる教材、と波紋が広が っていました。「ひとたび安 楽浄土に生ずれば、後の時 三界に生まれ、衆生を教化 せんと願じて……」同氏は 声読黙読を繰り返して、しば らく目を閉じ、ナマングブ ツと合掌されていました。 ◆その夜、同氏と別れ て後、私は長い時間書斎を 離れることができません。先 刻の情景を反すうし、証巻 を読み返し、五体に熱いも のがこみ上げてきました。 感動がいままでと願っ ています。(浅井幸憲)

大会が開催された。

宗祖親鸞聖人様は、救わ  
れている慶びをおなじみに  
なられて「ひさしくしず  
める我らをば弥陀弘誓の舟  
のみぞ乗せてかならず渡し  
ける」。

聖人は常に救われてある  
慶びを「我ら」とおっしゃ  
ったわけでありませぬ。また、  
同時に罪業深重の我らであ  
る、よろずの煩惱にしばら  
れた我らである等々。

聖人はいつも我らの中に  
ある私自身を考えられた。  
今、聖人のその思いにたち  
かえる時である。

六十年の組画以来つみあ  
げてきた、寺族婦人会、仏  
教婦人会、仏教壮年会ある  
いは総代会、法輪会、それ  
らの各教化団体の歩んでき  
た道を振り返り、これから  
共に手を取り合った念仏者  
の連帯を深めていきたい。  
こういう願いを持って、

ここに御同朋総集大会を  
挙げる次第であります。

と、去る十月九日出石町  
民センターに四百人以上の  
僧侶、門信徒を集め山崎一  
朗組長が大会の趣旨を述べ  
られ、三十九組のトップを  
きって出石組御同朋総集

### 念仏教団へ スクラムを

第二部では各組織の代表  
五人が実践発表をされた。

その中で総代会会長の多田  
実氏の発表は  
出石組総代会の現状の報  
告と、併せて今後への願  
いとを申し述べてみたいと存  
じます。

昭和六十年、皆様ご存じ  
の組画の変更がおこなわれ  
ました結果、出石組は現在  
十九ヶ寺で構成されており  
ます。

寺によって総代の人数は  
まちまちであります。十  
九ヶ寺合計しますと総勢七  
十名であります。

この七十名の門徒総代が、



「三帰依」を美しいハーモニーで……

毎年九月の第一日曜日を「出  
石組総代会研修の日」と定  
めております。

その研修の眼目は勿論い  
ま私達の宗門がすすめてお  
ります基幹運動であります。  
基幹運動と申しますのは、  
いまさら申すまでもないこ  
とですが、門信徒会運動と  
同朋運動とが一つのものと  
して進められる運動であり  
ます。

わたしの理解しますとこ  
ろでは、お念仏をきかせて  
いただくなかに差別があつ  
てはならない。お念仏のこ  
ろで差別を越えていこう  
という運動であると、私は  
いただいております。

総代ということで、ご住  
職を支えて「お念仏ひろま  
れ」とお手伝いさせていた  
だいている私が、差別に対  
して見て見ぬ振りをしてい  
ることはないか、人事とし  
て、知らん顔して見過ごし  
ていないかと、いつもこの  
ことを大事に考えていなけ  
ればならないものと、この  
研修で聞かせていただいた  
参りました。

浄土真宗のより所は、如  
来さまのご本願であります。

そのご本願は、「設我得仏  
十方衆生」と、分け隔てな  
く一切衆生をよんでくださ  
っております。

したがって「みんな来い、  
一緒に来い」とよんでくだ  
さるご本願を聞くのに、分  
け隔てや差別があつてはな  
りませぬ。

ところが、たとえばこの  
出石組にあつて、ほんとに  
分け隔てなく平等にご本願  
・おみのりにあえていられ  
るうか。

十九ヶ寺をみますと、そ  
れぞれにいろいろな事情、  
のつびきならぬ事情があつ  
て、どこのご門徒も同じよ  
うにおみのりに会えるとい  
う具合には行かない現実が  
あることを見逃してはなり  
ませぬ。

そういう状態をのりこえ  
て、だれもが同じようにお  
みのりに出会える状態にす  
るのには、それは十九ヶ寺  
が手を結び助け合う連帯を  
作る以外ありません。

### 大会ポスター完成

明年十一月七日の「兵庫  
教区御同朋総集大会」に  
向け各委員会において準備  
が進められているが、この  
たび念願のポスターが浜屋  
さんの協賛のもと完成する  
運びとなりました。

刷り上がったポスターに  
ついて「兵庫教区があまり  
表に出ていない」「全体的に  
おとなしい」「生きとし生き  
るものへの共感がある」な  
どの委員の感想であった。  
組長事務所を通じて各寺  
に三枚配付される。

来年にも第二次のポスタ  
ー作成を計画しております  
ので、ご意見ご要望等事務  
局までお寄せ下さい。

(3ページ上段に写真)

### 法語カレンダー 申し込みは早く

例年、真宗教団連合から  
発行されております「法語  
カレンダー」(平成二年度版)  
を教務所でも取り扱ってお  
りますので電話かハガキで  
お申し込み下さい。

(定価一部百二十円)  
また、法語カレンダーの  
法話集「ともに生きる」も  
一冊五百円で扱います。

# 出石組で御同朋総集 教区のトップ切って大会

い寺であれ、とにかく自分  
の縄張りに閉じこもった、  
でんでん虫が角つきあう状  
態であるかぎり、その差別  
の中に寺は消えて行きます。  
ご法義も消えて行っていま  
います。

そこで出石組として、と  
くに総代会として、考えな  
ければならないことは、寺  
と寺、組織団体と組織団体  
が、でんでん虫の角突き合  
わす状態ではなく、出石組  
としてみんなが手をつない  
で補い合い助け合う、差別  
のない御同朋の社会、御同  
朋の出石組をつくっていかな  
ければならないというこ  
とです。

この「出石組御同朋総結  
集大会」も、新たにこのこ  
とを確認しあい、将来にむ  
けてスクラム組んで再出発  
する決意を結集する大会で  
あると私は理解しているわ  
けであります。

### コーラスや インド舞踊

また、午後の記念講演の  
中で講師の都呂須孝文師は  
御同朋のお心を、歎異抄第  
一章に「弥陀の本願は老少  
善悪を簡ばれず」とあるが、

普通は選ぶという字を使  
いますがわざわざ簡ぶの字を  
使われました。

簡ぶには、いらぬものを  
を取り除く、よけいなもの  
を除く、との意味がある。

私は自分都合で善い  
悪いを判断しているが、阿  
弥陀様はいらぬものは何  
一つないんだと、全てのも  
のを必ず救うぞとはたらき  
かけて下さっている阿弥陀  
様の無限の平等性を主張さ  
れているのです。……と  
話された。

当日はその他、女子聖歌  
隊のコーラス、アトラクシ  
ョン、インド舞踊などもあ  
り盛会の内に午後三時過ぎ  
終了した。

### 組の機能を 問い直そう

終了後この大会までいろ  
いろご苦労をされた西池哲  
俊組相談員は思いを次のよ  
うに……。

出石組、十九ヶ寺。  
六十年の組画変更以来、  
教区の計画大綱路線をまず  
まず忠実に歩んできました。  
組連研は成功しております。  
仏婦が全寺院にできま



完成した兵庫教区御同朋総集大会のポスター

した。仏壯連盟も着実に伸  
びていきます。その他寺婦・  
寺族の研修もまずまずです。  
計画大綱がめざす「組」  
の模範的な「かたち」はで  
きあがりました。

「組」がきれいかた  
を整えたとところで、私達は  
新たな問題に遭遇しました。  
組とは何か。組織はいつ  
たい何のため。

「かたち」ではなく、今  
度は「はたらき(機能)」と  
いう面から問いただしてお  
なければなりません。

現に出石組は、すべてか  
たちはできたものの、なに  
をどう動きだせばいいの  
その新しい方向性が見いだ  
せないまま停滞きみであつ  
たのです。

ここで、みんなで寄り  
合って、自分自分の現状を  
点検し、そして新しいうご  
きを模索しなければ。  
(考えてみると、これは  
出石組だけにある問題では  
ないと思います。教区の御  
同朋総集大会の目的も、  
ここにあると考えました)  
組の基推委と教化団体と  
の合同会議から入りまし  
たとすると、大会を構築

### 尼崎西要寺で NHKが録画

来る十一月十二日の日曜  
日午前八時から教育テレビ  
「このころの時間」で本派大  
阪教区の清岡隆文師のご法  
話が放映されます。

この放映は阪神南組西要  
寺(堀祐興住職)で先頃厳  
修された報恩講法要でお  
説教が使われました。

録画当日は午前十時にN  
HKからワゴン車三台とス  
タッフ十二人でカメラ、機  
材、照明などを本堂に運び  
入れ午後二時からの法要に  
参拝されたご門徒もおどろ  
かれた様子でした。

### 教務所の新人

藤永賛事転出のあと不在  
となつておりました教区賛  
事に勝島徹正主事と赤松法  
雄主事が当たることとなり  
ます。

また教務所書記・別院堂  
掌として岡崎信明氏が十月  
十六日付で入所。(写真)

尚、副輪番兼賛事につ  
いては本山と交渉中。

